

施工概要 (セパレート型)

配管サイズと配管長の組み合わせ

□:標準仕様

配管サイズ	液配管 (mm)	φ6.35				φ9.52					φ12.7				φ15.88				
		ガス配管 (mm)	φ9.52	φ12.7	φ15.88	φ19.05	φ12.7	φ15.88	φ19.05	φ22.2	φ25.4	φ15.88	φ19.05	φ22.2	φ25.4	φ28.58	φ22.2	φ25.4	φ28.58
容量・型名	45型	-	30m	30m	-	※ ³ 10m	※ ³ 10m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	63型	※ ¹ 15m	50m	30m	-	※ ³ 15m	※ ³ 15m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	80型	-	※ ¹ ※ ² 30m	※ ² 30m	-	※ ¹ 30m	50m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	140型	-	-	※ ² 5m	※ ² ※ ⁴ 5m	※ ¹ 40m	50m	※ ⁴ 50m	-	-	※ ³ 30m	※ ³ ※ ⁴ 30m	-	-	-	-	-	-	-
	280型	-	-	-	-	-	-	-	-	70m ^{注)}	-	-	※ ¹ 30m	※ ³ 70m ^{注)}	50m	-	※ ³ 20m	※ ³ 20m	

- ※1. ガス配管をサイズダウンした場合、ガス配管での圧力損失が大きくなることから、冷房能力が低下し運転範囲が狭まります。
 - ※2. 液配管をサイズダウンした場合、室内ユニットの膨張弁容量との関係から運転範囲が狭まります。
 - ※3. 液配管をサイズアップした場合、冷媒追加封入が必要となります。
 - ※4. ガス配管φ19.05 (O材)を使用する場合、室外ユニット基板上的ジャンパー線JP6の切断が必要です。
- 注) 280型で配管長が30m以上の場合は、液配管をφ12.7にしてください。

配管方法

シングル

(冷媒配管接続方法)

(配管サイズ)

項目	配管サイズ(φmm)		許容配管高低差(m)
	ガス	液	
容量・型名			
45・63型	12.7	6.35	室外上30 (室外下20)
80・140型	15.88	9.52	
280型	25.4	9.52※	

※配管長が30m以上の場合は、液配管をφ12.7にしてください。

(許容配管長さ)

配管記号	配管長さ		
	45型	63~140型	280型
A 実長	30m以下	50m以下	70m以下
A 相当長	40m以内	70m以内	90m以内

同時ツイン

(冷媒配管接続方法)

(配管サイズ)

項目	配管サイズ(φmm)				許容配管高低差(m)
	ガス		液		
容量・型名	室内	室外	室内	室外	
280型	15.88	25.4	9.52	9.52※	室外上30 (室外下20)

※配管長が30m以上の場合は、液配管をφ12.7にしてください。

(許容配管長さ)

配管記号	配管長さ	
	280型	
A+B+C	60m以下	
A+B 実長	各70m以下	
A+C 相当長	各90m以内	
B・C	実長…各10m以内 (極力短くしてください)	
A	B・Cの長さより十分長くとってください。	

分岐管の設置姿勢および位置

同時ツイン

(設置姿勢)

分岐管は水平になるように、柱・壁・天井などに固定してください。

柱・壁面への固定

天井面・小屋梁への固定

(注) 配管を金具などで固定する際は配管断熱の上から固定するか配管と金具の間に緩衝材を入れ固定してください。

(位置)

室内ユニット間の高低差は0.5m以下としてください。

既設配管(R22)流用

圧縮機の故障履歴がある場合でもリニューアルキット(オプション)を使用することにより、洗浄レスで既設配管の流用が可能です。リニューアル時の施工作業の手間を大幅に軽減できます。

既設配管流用時の条件

●下記の条件を満たせば、洗浄レスで既設配管の流用が可能です。

条件 1 配管長:**50m**までであること

条件 2 既設配管に腐食・亀裂・傷・変形がなく、内部が汚れていないこと

条件 3

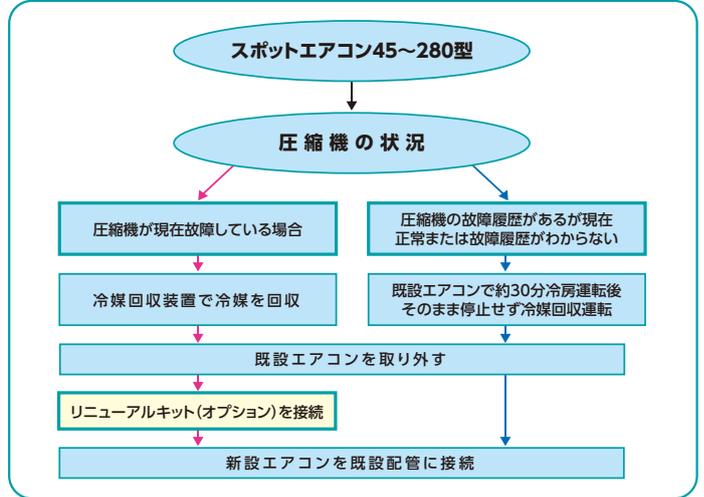
- 配管肉厚・フレアナットなど、JIS規格品を使用すること
- フレアを再加工すること
- 配管の気密・真空引きなど新規配管と同様、確実にすること
- 断熱材、配管の支持部材に損傷がある場合は補修または交換のこと

注)既設エアコンの撤去時は、フロン回収が義務づけられています。

〈既設が他社製品の場合〉

- 上記条件を満たせば、既設が他社製品でも既設配管が利用できます。
- ツイン機の分岐管は、当社指定の分岐管に変更してください。

既設配管施工手順



注)ツイン機の分岐管は、当社指定のR410A用分岐管に変更してください。

■リニューアルキット価格表

室外ユニット 容量・型名	リニューアルキット	
	室外ユニット機外取付 [短管(現地)+キット+既設配管]	室外ユニット機内取付 [キット+既設配管]
45・63型	TRF-NP63S 15,000円	-
80・140型	TRF-NP160S 15,000円	-
280型	-	TRF-NP280U 22,500円

注)リニューアルキットは液・ガス配管セットとなります。

■既設エアコンの配管許容範囲(洗浄レスの場合の配管長)

配管サイズ	液配管(mm)	外径	φ6.35				φ9.52				φ12.7				φ15.88			
			肉厚	φ9.52	φ12.7	φ15.88	φ19.05	φ12.7	φ15.88	φ19.05	φ22.2	φ25.4	φ15.88	φ19.05	φ22.2	φ25.4	φ28.58	
容量・型名	45型	-	30m	30m	-	※1 10m	※3 10m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	63型	※1 15m	50m	30m	-	※3 15m	※3 15m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	80型	-	※1 30m	※2 30m	-	※1 30m	50m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	140型	-	-	※2 5m	※2 5m	※1 40m	50m	※4 50m	-	-	※3 30m	※3 30m	-	-	-	-	-	-
	280型	-	-	-	-	-	-	-	-	30m	-	-	※1 30m	※3 50m	50m	-	※3 20m	※3 20m

注1)肉厚において、※印1/2H材、※印が付いていない数値はO材の場合です。
注2)洗浄レスの場合の配管長は全て50m以下です。

※1. ガス配管をサイズダウンした場合、ガス配管での圧力損失が大きくなることから、冷房能力が低下し運転範囲が狭まります。
※2. 液配管をサイズダウンした場合、室内ユニットの膨張弁容量との関係から運転範囲が狭まります。
※3. 液配管をサイズアップした場合、冷媒追加封入が必要となります。
※4. ガス配管φ19.05(O材)を使用する場合、室外ユニット基板上的ジャンパー線JP6の切断が必要です。

■冷媒追加封入量

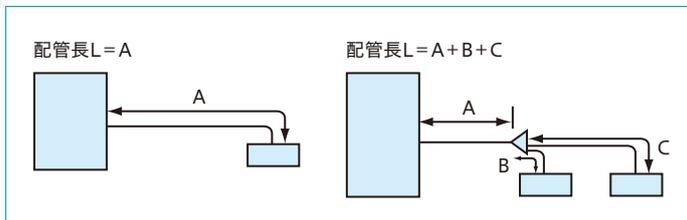
注)SR-AP280CT1型において、配管長が30m以上の場合は液配管径をφ12.7にしてください。

配管長L(m)を計算します。

- a) Lがチャージレス長以内の場合、冷媒追加封入は不要です。
b) Lがチャージレス長を超える場合冷媒の追加封入が必要です。
下記に従い追加封入量を計算してください。

$$W(\text{追加封入量}) = (L - \ell) \times P$$

L: 配管長 ℓ: チャージレス長 P: 追加補正值



型式	出荷時封入量(kg)	チャージレス長(m)	追加補正值:P
SR-AP45CT1	1.3	20	0.03
SR-AP63CT1	1.6	30	0.03
SR-AP80CT1	2.4	20	0.04
SR-AP140CT1	3.3	30	0.06
SR-AP280CT1	6.7	30※1	0.12※1

※1. 配管長Lが30m以上の場合、液配管をサイズアップ(φ12.7)する必要があります。この場合、30mを超えた1mあたり、0.12kgの冷媒を追加してください。
※2. 既設配管流用時に液配管をサイズアップした場合は値が変更になります。詳細は室外ユニット付属の据付点検要領書をご確認ください。

掲載商品の価格は事業者様向けの積算見積価格であり、一般消費者様向けの販売価格ではありません。

なお、積算見積価格には、消費税・配送費・試運転調整費・配管セット・工事費・使用済み商品の引き取り費などは含まれておりません。